

# ふれあい

平成20年12月 第273号

大代地区コミュニティー推進協議会  
〈編集部〉

事務局：大代地区公民館

☎364-8442

## 〈掲載目次〉

- 柿渋の雑学・・・・・・・・・・・・・1
- 第三回秋つ来祭りがありました!!・・・・・1
- 物置を整理して(その四)・・・・・・・・・・・・・2
- 大代東区のグラウンドゴルフ大会・・・・・・・・・・・・・2
- みよりの家を訪問して・・・・・・・・・・・・・2
- おめでとうございませす・・・・・・・・・・・・・3

- 地域の皆様に支えられて・・・・・・・・・・・・・3
- 新年を祝う会開催のお知らせ・・・・・・・・・・・・・3
- 大代の歩み(九)・・・・・・・・・・・・・3
- ふれあい短歌・・・・・・・・・・・・・4
- ふれあい俳句・・・・・・・・・・・・・4
- 体育室等使用中止のお知らせ・・・・・・・・・・・・・4

### 柿渋の雑学

大代東 佐藤 捷逸

今年も渋抜き柿の美味しい季節になりました。柿が色づいてくると医者が青くなるなど良く耳にする言葉ですが、殺菌作用があるため下痢どめや、便秘解消などの整腸作用、しもやけ、やけど、解熱や風邪薬としても用いられたようです。でも硬い柿をガリガリかじる食感は何ともいえない、秋の感覚を楽しむ一時期です。そんな時期に加齢された男性に渋を抜かない柿の話が舞い込んだので紹介したいと思います。加齢すると男性は爺の臭いがするといわれます。原因はノネナルという成分らしい、皮脂が赤外線を浴びると酸化し皮膚にバクテリア(菌)が繁殖、発酵することにより悪臭になることを知りました。男性は年老いてくると上半身脂っぽくなることは既に知られているところですが、そこで登場したのがしつかり手入れの行き届いた肌に柿の渋エキスが男性の肌を保湿することにより保護するということらしい。そして爺くさい臭いがしなくなるという。渋柿を加工品として販売されているものに石鹸などがあるようです。私達は柿の渋を直接利用することはなくなりましたが昔は柿の渋を利用して雨具なども作ったようです。また古くは柿渋を塗った木管なども発見されているようです。渋柿の皮は完全に乾燥させ

て、ジュサーで粉末にして甘味料としても使用出来るそうです。しかし少し匂いが残るかもしれません。またカラカラに乾燥させた柿の皮を煮た汁を絞り更に煮詰めるとジャム状になります。パンにつけて食べるのも美味しいかもしれません。でも、渋柿で最大に気になるのが加齢された男性の臭いが取れる話、ついでにストレス社会から抜け出す柿の渋があればもっといいと思いませんか？

### 第三回秋つ来祭りがありました!!

大代地区子ども会育成連合会 小幡 順一

去る、十月十九日、大代地区子ども会育成連合会主催による、大代地区の住民の皆様と東小学校に通う、子ども達とのふれあいを目的とした秋つ来祭りを開催いたしました。当日は汗ばむほどの秋晴れで、テントの設営、トン汁作り、フリーマーケットの用意など役員の皆様を中心に準備が進み十時三十分の開催を無事迎えました。スタート前から大勢集まっていた子ども達はフリーマーケットで狙っていた賞品を買ったりゲームやバザー等楽しい時間を過ごしていました。ラストには、多賀城消防隊のご協力で、校庭でケムリ体験(モクモクハウス)を体験することができ、子ども達にとって良い経験になったかと思えます。最後に、開催にあたりご協力頂いた、育

成会役員、PTA役員、エステバンの皆様  
ありがとうございます。今年は、約三百五  
十名程の子ども達が遊びに来てくれまし  
た。来年もまた、遊べるイベントを企画し  
楽しい時間を作りたいと思います。

### 物置を整理して（その四）

大代中 本郷 敏郎

今回は明治十七年十一月に発行された  
「宮城県地誌提要」という本を紹介いたし  
ます。

本そのものは「和紙」で出来ており、約  
八十ページからなり、編集は「宮城師範学  
校」出版は「宮城県学務課」いずれも「陸  
前国仙台区勾当台通」とあります。中を開  
きますと最初に、宮城県管内全図があり、  
当時宮城県は「陸前国」と「磐城国」が一  
緒になり宮城県となったことがわかりま  
す。次のページからは、総論となり、県内  
の郡区、村数、町数、戸数、人口、境界、  
地勢、山川、道路、位置、放里、物産、な  
どが詳しく乗っています。次ぎに総論の内  
容が県内各に郡別に事細かく載っていま  
す。近年、市町村合併が行われていますが、  
私達の住んでいる多賀城は宮城郡に入っ  
ており、その内容を見ると、西は羽前国に接  
し、北は加美、黒川、志田、遠田の四郡に  
連なり、仙台区を包みて、名取郡に接し、  
東は海に面し、東北の一隅は、桃生郡にと  
あります。村の数、戸数、人口等が書いて

あり、地勢、山岳、河流、岬角、港、勝地、  
日本三景、古跡、温泉、駅市、物産等事細  
かに記して有ります。

この文面に大代の事が載っていました。

「砂押川ハ、菅谷村ヨリ発シ、名古曾川ハ  
森郷ヨリ来リ、市川村ニ至リ、二流相會シ、  
之ヲ市川ト稱ス、大代村ニ至リテ、海ニ入  
ル。」とあります。

その他、県内すべての当時の郡が、事細  
かく書いてあります。また、古跡の所には

「多賀城址ハ、二在リ、市川村ニ在リ、壺  
ノ碑、今猶存セリ」とあります。また、そ  
れぞれの郡の他に、「松島湾図」「栗駒嶽図」  
など、県内の主な所が絵で書いてあります。

以上紹介しましたが、この本その他に明治  
の初めの本などもありますが、永くなりま  
すので、次の機会に紹介したいと思いま  
す。

### 大代東区のグラウンドゴルフ大会

大代東 佐藤 松雄

去る十月十九日（日）東区の体育部の行  
事によるグラウンドゴルフ大会を晴天のも  
と大代緑地公園において盛大に開催されま  
した。

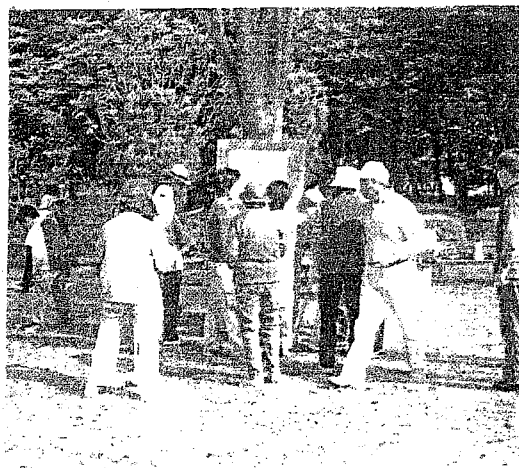
参加者三十名、年齢層は小学生から八十  
代までのそうそうたるメンバーとなりまし  
た。中には始めてクラブを持つ小学生もお  
りました。それが何とホールインワンを出  
すなどレベルの高い大会となりました。特  
に試合マナーに気をつけお互いに励まし合

って楽しくプレーすることが出来ました。

私も参加者の一人ですが急に参加者がふ  
え、大会前日のクラブの準備おかわらだ  
った区長さん大変ご苦勞様でした。当日準  
備をしてくださいましたお世話役の方々ご  
協力ありがとうございました。

次回はさらに一人でも多くの区民の参加  
を期待してやみません。賞に入られた方は  
次の方々です。

- 優勝 安藤 雪子さん
- 二位 早坂 登喜哉さん
- 三位 阿部 真言さん



### みよりの家を訪問して

大代東 佐藤 洋子

私達大代食生活改善推進委員は、春秋と  
みよりの家を訪問、恵愛ホームには春と、  
夏まつりのお手伝いに参加しております。  
今回みよりの家を訪ねてみると現在一階九

名二階九名が在籍しているとの事でした。今回は七名で訪ねたのですが二階と一階と半々に別れてグループの人達と談話をしたり歌を歌ったり楽しい時間を過ごさせていただきました。歌詞カードは職員の方が用意してくれて昔の懐かしい歌がほとんどでした。一緒に口ずさむ曲ばかりで肩をたたいてあげてリズムをとり、なるべく大きい声で歌ってほしいと願いながらつい我を忘れて、声をはりあげてのどがからからになりお茶をいただいてしまい恐縮しました。職員の方達は接し方もさすがにベテラン揃いでにこにこ笑顔で皆さん安心して生活している様子でした。午前中に柏木幼稚園の園児達が訪問されてそのビデオを見せていただきました。子どもさん達の元気な態度にふれて本当に一日楽しい日となったと思います。帰りに握手をしてきましたが、亡き母の手を想い出し暖かいぬくもりを感じながら帰宅の途につきました。

### おめでとうございます

大代地区コミュニティー推進協議会より地域奉仕及びボランティア活動に尽力された、暁流仙台南支部を市政功労者として推薦しましたところ、平成二十年多賀城市政功労者として表彰されました。

### 地域の皆様に支えられて

暁流仙台南支部大代中区 本郷 京子  
この度、多賀城市より篤行功労章を受賞いたしました。このような光栄に浴しましたのも、弟子たちの協力、地域の皆様のご支援があったからこそです。ありがたきお受けし、心よりお礼申し上げます。

私の原点は多賀城地区大代公民館が始まりです。舞踊を通じてのボランティアは、多賀城はもちろんのこと、松島、塩竈、七ヶ浜、仙台等と活動しております。

当初は、福祉事業に奉仕することを経験とし、地域の為、何か役に立てればと始めたことでしたが、今はホームの方々から「ありがとう、楽しかった!」「またきてね!」と声を掛けられ、車椅子を引きながら玄関でいつまでも手を振ってくれる姿を見るにつれ、逆に私達が励まされ、日々の稽古にも身が入ります。

今回の表彰を終着とせず、微力非才ではありますが、地域の方々とこれからも力を合わせ邁進していきたいと願っております。

### 新年を祝う会開催のお知らせ

大代地区コミュニティー推進協議会

会長 熱海 五郎

平成二十一年「新年を祝う会」を次の通り開催致します。皆様方ご参加下さいませ

様ご案内申し上げます。

(記)

■日時/平成二十一年 一月十日(土)

午前十一時〜午後一時

■場所/大代地区公民館

■会費/千五百円

参加申込詳細は回覧文書をご覧ください。

(十二月の配布物に入っております)

■申込締切/平成二十年十二月二十日(土)

■主宴アトラクション

レーザーカラオケを用意いたします。出演希望者でカラオケ専用テープが必要な方はご持参下さい。

■会場設営

一月十日八時三十分から会場の準備を行いますので関係者の方はご協力下さい。

### 大代の歩み (九)

大代南 渡邊 巖

神社

柏木神社(一)大代村唯一の鎮守神である。祭神は塩竈大神の従神である藻塩場老翁・藻塩場老媪の二神で延暦二(七八三)年の観請といわれる。

「塩松勝譜(塩竈・松島の勝景を記した江戸時代の観光案内書)」の一部に

『大代二在り塩廟枝祠(塩竈神社の末社)

ノ一。土人曰ク、神柏樹ヲ愛ス。故二祠辺皆柏木也。相伝フ、神塩神二従ッテ塩ヲ煮、

柏葉二包ミテ諸生民二傾カチ与フ。故二柏木ノ称アリ』と見える。

昔、大代付近の開拓に偉大な功績を垂れ、塩竈神と共に塩を煮て柏の葉に盛り諸民に頒け与えた故に柏木神と崇敬されて、鎮守の社は柏木（現在の代一丁目地内）にあり、例祭日は旧暦の九月二十七日で、当日は神社の周囲に多くの出店が並び近郷近在から多勢の参詣男女で賑わったが、中でも人目を惹いたのは、伝統行事として老神官が奉納した二つの修験荒行であった。

最初に、神社の広場に柴木を燃やし、その上を裸足で渡る『火渡り』。

続いて、直径約四尺、深さ約二尺の大釜の水を煮立て、その熱湯を白衣装束の神官が笹竹に浸して身に振りかけながら、大釜を一巡して身を清める『湯立て』。

この二つの行事は昭和一桁年代頃まで行われていた。また、神社に隣接して来宝院という修験道場が承応元（一六五二）年に仙台慈悲雲山良覚院として開山し、建物は明治年間まで残っていた。本尊は一尺五寸の不動明王の木仏立像で慈覚大師の作という。開院は来宝院永順で、その子孫が柏木神社の別当※を兼ね、現在の宮司本郷家となっている。

※神仏混淆時代の僧の職名で、明治元年の神仏分離令で名称だけが残った。

続く

### ふれあい短歌

大代西 藤田 遊子

自転車の買ひ物籠にご機嫌の

ポチの笑顔に 春風そよぐ

幼少の 我釣りをせし 小川あり

地震に埋もれ 釣りす能はず

山川を 越えて通ひし 通学路

草木に埋もれ 通ふ人なし

蝸牛 角出せ 槍出せ 旗揚げよ

越後の真紀子 そろそろ出番

宮様の 走る姿を見守れる

きさきの笑顔 秋空に映ゆ

「トラ・トラ・トラ」何の事かと

孫が問う 十二月八日 知る人なきや

掃除して 正月迎ふ 準備せば

### ふれあい俳句

大代西 松浦 富男

大花野孫の笑顔が跳んで来る

芒野や銀の怒濤に沈没す

虫の音に笛の綾なす 薪能

運動会あけつばなしの 駐在所

蔵王の水一夜ぐりし 新豆腐

取り手無き 熟れ柿たわわ 過疎の村

相次で 義姉鬼籍へ 冬隣り

魚籠に 沙魚三十あまり 海のなぎ

出不精の 吾を誘へる 紅葉狩

牡蠣鍋の 湯氣に 浮んだ娘の笑顔

### ふれあい俳句

笠神西 本郷 勝子

あかね色 潟坊主 高き猪苗代

（潟坊主とはヨシの群生しているさま）

秋霜の 磐梯山より 眺む 五色沼

そばの花 山裾 染まり 限りなく

雲 飛んで 稜線 すれすれ 渡り鳥

夢 誘う 棚田に 赤き 萬珠沙華

満月や 篠笛の 音響き あり

○松島円通院にて

月光に 浮かびて 高く 杉木立

枯山水 燃るも みじや 誘けり

ライトアップ 水面に 写りし もみじかな

紅葉狩 万葉の 装束し 篠笛の 音

笠神西 吉野 珠子

秋茄子や 実の しつかりと 濃紫

秋澄みて ゴルフする 人影法師

秋雷と 鑄物の 音と 二重奏

秋雨の しかと 大樹に しめりけり

舟着場 実浜木 綿食に けり

### 体育室等使用中止のお知らせ

大代地区公民館の耐震診断を実施した結果に基づき、体育室・調理室・第三和室の改修工事を行うため、平成二十一年一月十四日（水曜日）から当分の間、同室の使用を中止いたします。ご利用の皆様には多大なご不便ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。